

パブコメ集計結果(感染症研究国際ネットワーク推進プログラム(感染症))

1. 総数: 34 件

2. 賛否について:

○賛成:	31 件
○賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの:	0件
○反対:	3件
計	34 件

(賛否の考え方)

- ・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
- ・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

(参考)

①賛成

- ・ 第1期で構築されたアジア・アフリカ諸国での海外研究拠点は、研究材料の入手や現地研究者との密な関係の構築、重要な基礎的知見の蓄積において大きな成果を挙げてきている。グローバル化が進み、いつ何時世界のどこかでパンデミックが起きるかは誰も予想がつかないような状況では、日本を取り囲む周辺諸国に、研究拠点を維持しさらに発展させることは非常に意義深いことであると考えられるので、本プログラムはさらに発展させるべきである。
- ・ 感染症研究国際ネットワーク推進プログラムの第1期事業により形成された海外拠点は、わが国の研究者達が現地に駐在し、当該国の研究者と共同研究を行い、彼我の人材育成を行うための基盤となった。個別事業の重要性や相手国や相手機関の選択を含めた外交上のプライオリティーも考慮し、さらに発展させるべきである。
- ・ 感染症研究国際ネットワーク推進プログラムの維持と更なる推進を切望する。

②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの

③反対

- ・ 絶対に廃止すべき。
- ・ 文科省が推進すべきプログラムではなく、厚労省の担当であろう。
- ・ 国立感染症研究所があるのに、なぜ理化学研究所の中にも感染症を扱うセンターが必要なのか、一般市民には理解ができない。